

「ケガをしたタンチョウはどうなるの？～動物園の獣医さんに学ぶタンチョウの今～」 ミッション完了！

8月8日（日）9名のこどもレンジャーがファーストミッションに参加しました！

近年、個体数が回復している一方タンチョウの交通事故が増えていることなど、タンチョウを取り巻く現状を詳しく教えていただきました。



義足のタンチョウ「モモ」にも会いに行って、モモが牛に蹴られて足を骨折してしまったこと、また義足は、歯医者さんが入れ歯を作るときに使う材料を使って飯間先生が手作りしていることを知りました。



タンチョウを捕まえている間、おとなしくしてもらうために特注のマスクやジャケットを使用します。今回特別に、タンチョウを捕まえてこどもレンジャーのみんなの前に連れてきてくれました！タンチョウの赤いところを触って、頭が皮膚であることを確認したり、タンチョウを持ち上げてみるなど、間近で生態を観察しました。





死んでしまったタンチョウの病理解剖をして死因を解明することも獣医さんの大事な仕事です。今回は手術室、解剖室、解剖後のタンチョウが保存されている冷凍保管庫を見学して、死んでしまってもさまざまな研究や調査に使われるということを学びました。



タンチョウを取り巻く現状を学んで、私たちは何ができるでしょうか？

例えば…

- ・道路を横断しているタンチョウを見かけたら、車は徐行する！
- ・ゴミをポイ捨てしない！など…

これから一緒に考えていきましょう！

ご参加いただいたこどもレンジャーのみなさん、ありがとうございました！

次回はリニューアルオープンした野生生物保護センターに行きます！

お楽しみに！